

事 項	えだまめ品種「あおもり豊丸」の7～8月どり安定栽培の最適栽植本数	
ね ら い	<p>「毛豆」を早生化したえだまめ品種「あおもり豊丸」、「あおもり福丸」について、平成14年度の指導参考資料として品種・栽培法を組み合わせた連続出荷体系について供した。</p> <p>今回、7～8月どりに適した品種「あおもり豊丸」を用いて最適栽植本数について検討したところ、知見が得られたので参考に供する。</p>	
指 導 参 考 内 容	<p>1 移植栽培 最適栽植本数は、1,428本/a（株間10cm、うね幅140cm、2条植、条間40cm）である。 (1) 上物収量、総収量とも、栽植本数1,428本/aが最も多い。 (2) 上物収量、総収量とも、栽植本数が減少するにつれて、減収する傾向である。</p> <p>2 直播栽培 最適栽植本数は、571～714本/a（株間20～25cm・1本仕立て、うね幅140cm、2条植、条間40cm）である。 (1) 上物収量は、1本仕立てでは栽植本数による違いが少なく、2本仕立てでは714本、1,428本/aでやや減少した。 (2) 蔓化・倒伏程度は、栽植本数571～714本/a（株間20～25cm・1本仕立て）が小さく、この栽植本数では種子量も節減できる。</p>	
期待される効果	「あおもり豊丸」の7～8月どり栽培の安定生産に寄与する。	
利用上の注意事項	<p>1 移植栽培では、苗をなるべく強風に当てないように、移植作業及びトンネル（パスライト）被覆をすみやかに行う。</p> <p>2 移植後はすみやかにマルチ穴を土でふさぎ、地温の上昇を促進する。</p> <p>3 不織布トンネルは、過繁茂、軟弱徒長を防止するため平均気温15℃、最高気温20℃を目安に除覆するが、移植栽培では開花期間中にこの温度以下に遭遇すると着莢率の低下を招くおそれがあるので、このような場合はできるだけ開花始期を過ぎてから行う。</p> <p>4 その他については、平成14年度指導参考資料「えだまめ『あおもり豊丸』、『あおもり福丸』による品種・栽培法を組み合わせた連続出荷体系」を参照する。</p>	
担 当	青森県農業試験場 水田利用部	対 象 地 域 津軽地域
発表文献等	平成12～14年度 青森県農業試験場試験成績概要集	

【根拠となった主要な試験結果】

表1 収穫時生育調査

(平成12~14年 青森農試)

栽培法	年度	は種日 (月.日)	定植日 (月.日)	株間 (cm)	仕立本数 (本/株)	栽植本数 (本/a)	全重1) (g)	草丈 (cm)	主茎長 (cm)	節数 (節)	分枝数 (本)	茎径 (mm)	蔓化	倒伏	開花期 (月.日)	収穫期 (月.日)	収穫終 (月.日)
移植	H13	4.16	4.27	10	1	1,428	221.1	111.8	78.1	14.3	3.9	8.7	++	++	6.11	7.28	8.1
				15	1	952	300.9	106.7	77.5	15.0	4.9	9.6	++	++	6.11	7.28	8.1
				20	1	714	371.0	94.1	62.6	14.2	5.8	10.5	±	-	6.11	7.28	8.1
	H14	4.4	4.17	10	1	1,428	180.3	82.0	51.2	9.7	3.4	7.0	±	-	5.29	7.27	7.29
				15	1	952	233.5	80.4	46.3	10.0	4.2	8.0	-	-	5.28	7.25	7.27
				20	1	714	292.9	76.3	41.7	9.8	4.8	8.3	-	-	5.26	7.22	7.27
直は	H12	4.19	-	10	1	1,428	258.0	108.7	68.3	12.5	4.8	9.5	+	++	6.18	8.10	8.13
				15	1	952	335.1	105.9	62.9	12.7	5.6	10.4	±	+	6.18	8.10	8.13
				15	2	1,904	165.4	103.8	64.5	11.9	3.7	7.9	±	+	6.18	8.10	8.13
	H14	4.17	-	10	1	1,428	229.0	114.3	86.1	14.2	4.6	8.5	++	++	6.19	8.7	8.13
				15	1	952	303.6	105.5	75.8	14.0	5.7	9.4	+	++	6.17	8.7	8.14
				20	1	714	355.2	97.2	69.2	14.2	6.6	9.9	-	+	6.17	8.5	8.14

(注)1 全重は1本当たり
2 蔓化及び倒伏は、++:多、+:小、±:微、-:無とした

表2 a当たり収量

(平成12~14年 青森農試)

栽培法	年度	は種日 (月.日)	定植日 (月.日)	株間 (cm)	仕立本数 (本/株)	栽植本数 (本/a)	総収量 (kg/a)	上物(kg/a)			下物(kg/a)			上物率 (%)		
								計	4粒莢	3粒莢	2粒莢	計	1粒莢		不良莢	不稔莢
移植	H13	4.16	4.27	10	1	1,428	110.3	65.2	0.0	9.1	56.1	45.1	24.5	8.7	11.9	59.1
				15	1	952	93.9	52.7	0.0	7.7	45.0	41.2	22.8	8.2	10.2	56.2
				20	1	714	99.5	63.2	0.0	12.2	51.1	36.2	23.8	6.3	6.1	63.6
	H14	4.4	4.17	10	1	1,428	100.0	66.3	0.0	9.3	57.0	33.7	21.2	6.8	5.6	66.3
				15	1	952	83.2	55.7	0.1	9.0	46.6	27.5	20.5	4.7	2.3	66.9
				20	1	714	77.1	52.5	0.0	7.7	44.8	24.6	17.7	3.7	3.2	68.0
直は	H12	4.19	-	10	1	1,428	170.9	123.2	0.8	25.7	96.8	47.7	24.2	21.0	2.5	72.1
				15	1	952	139.3	108.5	0.0	23.5	84.9	30.8	19.2	9.3	2.3	77.9
				15	2	1,904	155.4	120.5	0.0	23.4	97.1	34.9	17.7	15.0	2.2	77.5
	H14	4.17	-	10	1	1,428	130.5	105.7	0.4	18.2	87.1	24.8	19.2	4.7	0.9	81.0
				15	1	952	127.9	103.5	0.0	18.1	85.4	24.4	16.8	5.9	1.7	80.9
				20	1	714	122.5	68.5	0.0	16.2	52.3	54.0	20.5	21.3	12.2	55.9

(注) 4粒莢、3粒莢、2粒莢を上物とし、それ以外を下物とした

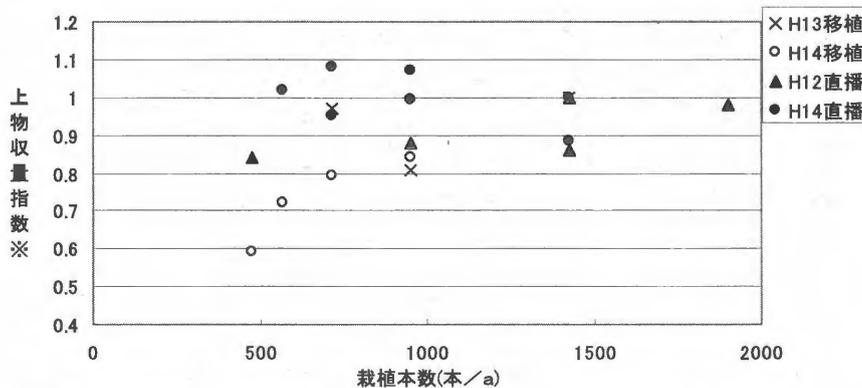


図1 栽植本数と上物収量 (平成12~14年 青森農試)

(注) 収量指数: 各々の年次において栽植本数1,428本/a (株間10cm) の収量を1とした時の指数

移植については栽植本数1,428本/a (株間10cm) の収量を1とした

直播については株間10cm、20cmがあるが、この場合、10cmを1とした

- 1 耕種概要 うね幅140cm、株間10cm、2条植え、条間40cm
 施肥量(kg/a) 窒素0.3、りん酸0.9、加里0.6
 マルチはセラシート(グリーン)、トンネルは不織布(パスライト)を使用
 トンネルはH12:6/13、H13:6/6、H14:6/3に除覆
- 2 育苗方法 は種は128穴セルレイに市販培土(与作N-15)を入れ、1粒ずつは種
 移植は初生葉展開時に実施